第7学年 道徳学習指導略案

日 時 令和4年11月5日(土) 第2校時
 指導学級 興本扇学園足立区立扇中学校
 指導者 1組 26名 指導者 伊東 貴昭
 2組 25名 指導者 工藤 健太
 3組 25名 指導者 小出 晴斗

- 1 内容項目 C 勤労
- 2 主題名 働くということ
- 3 教材名 「幸せな仕事って」
- 4 本時のねらい 職業選択のあり方や働くことの意義を考慮することを通して、自分の仕事に誠実に取り組むことのすばらしさに気づき、自分の将来の勤労について考えようとする態度を育てる。

5 本時の展開

	学習活動	主な発問 (○) と予想される生徒の反応 (・)	指導上の留意点
導 入 1 5 分	◎教師による朗読 1 将来就きたい「仕事」について考えを出し合う	○あなたは、将来どんな仕事に就きたいと思っていますか。 ・まだ決めてない ・はっきりわからない ・人と関わる仕事 ・何かものを作る仕事 ・楽な仕事 ・お金が儲かる仕事 ・趣味を生かせる仕事 ・何でもいい	○自由に意見を出させる。 まだ決まっていない生徒は、具体的な職業でなくても方向性や大切にしたいことなどでもよい。
展 開 2 5 分	2教材を読み、働くことについて考える	○働くことにはどんな意義があると思うか、みんなで出し合おう。 ・収入を得て生活ができる。好きなものを買える。 ・充実感、満足感、達成感などを味わうことができ、自分に自信がもてる。 ・お客さんの喜ぶ顔が見られる。 ・人から頼られたり、感謝されたりする。 ・世の中の役に立てる。 ・仲間と協力して何かを達成する喜びがある。 ○太陽を見ながら、光太郎はどんなことを考えていたのだろう。 ・夢が決まっていなくても、目の前のことで少しでもいいことをしていると何か気づくことがあるんだ。 ・なにげない日々でも、努力して誠実に働いていけば、感謝や喜びがある人生になるんだなあ。 ・自分が何に向いているのかわからず焦っていたけど、今やるべきことをやればいいんだ。	○個人で考え、10個程度ワークシートに書かせた後、班(少人数)で話し合わせる。 観察☞(聞く態度・伝え方・記述) ○班ごとに発表させ、意見を板書する。 ○自分で考える時間と、他の人の意見を聞き、気づき、再構成する時間を確保する。 【評価】「働くことの意義」について自分なりに考え、さらに他の人の意見を聞くことで「自分の幸福の追求」と「社会での役割」とを多面的・多角的に広く捉えることができたか。(話し合い) ○職業選択に関して、まだ夢や進む道を決められなくても、今の環境で誠実な行動ができていれば良いと理解させる。 観察☞(活動の様子・発言)

ま と め 1 0 分	3 働くこととどのように向き合 っていくか、考えをまとめる	○「幸せな仕事にめぐり合う」には、どんなこと が必要だろうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・日々の誠実さ、努力、感謝の気持ち ・ずるいこと、ごまかしをしない ・人との出会いを大切にする ・人の心に寄り添う ・自分の行いに責任をもつ etc. 	【評価】 どのような気持ちで働けば 自分も世の中も幸せになるか、自 分なりに前向きに考えているか。 (ワークシート)
----------------------------	----------------------------------	---	---